第23回 日本雑草学会シンポジウム

遺伝子組換え植物の生態系影響評価と管理

－LMOの適正な利用のために－

日時　2008年11月29日（土）　10:30～17:00

会場　新梅田研修センター　（JR大阪駅から徒歩10分）

（大阪市福島区福島6-22-20, Tel: 06-6612-7733）

第一部　遺伝子組換え植物の現状と課題

1）遺伝子組換え植物と私たちの生活
　小泉　望（大阪府立大学）

2）遺伝子組換え植物の近縁野生種が自生する栽培地周辺の生態系
　中山祐一郎（大阪府立大学）

3）わが国における遺伝子組換え農作物の研究開発の進め方
　横田敏恭（農林水産技術会議事務局）

第二部　遺伝子組換え植物の生態系影響評価－とくに雑草との関わり－

4）交雑・野生化の検出技術とその実際
　－遺伝子組換えセイヨウナタネの分布についての分子生態学的解析－
　青野光子（国立環境研究所）

5）遺伝子組換え植物と野生種との交雑率の評価
　－圃場条件下における遺伝子組換えダイズとツルマメとの自然交雑－
　吉村泰幸（農業環境技術研究所）

6）栽培植物と野生種との交雑・遺伝子浸透の実態と野生化の評価
　－ダイズからツルマメへの遺伝子浸透に関する研究－
　加賀秋人（農業生物資源研究所）

第三部　総合討論　－わが国で遺伝子組換え植物を栽培するには何が必要か？

参加費　一般（会員・非会員）2,000円　学生　1,000円
要旨代　1,500円

懇親会　17:30～19:30　5,000円程度

主催：日本雑草学会　※ 申し込み方法などは日本雑草学会HP（http://wssj.jp/）に掲載します。

問合せ先：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科　中山祐一郎
uja@plant.osakafu-u.ac.jp　Tel・FAX　072-254-9414